

中温度域熱電池開発および熱電標準化検討シンポジウム



クリーンデバイス社会実装推進事業

熱発電デバイスによる中温度域独立給電型センシングモジュールの用途開拓

日時：平成28年12月15日(木) 13:00~17:30

場所：コンベンションルームAP秋葉原

(<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-akihabara/ak-base/>)

1. はじめに

排熱発電コンソーシアム会長挨拶

代表事業者・プロジェクトリーダー挨拶

2. クリーンデバイス社会実装推進事業「熱発電デバイスによる中温度域独立給電型センシングモジュールの用途開拓」における進捗・成果について

2-1. ユースケース創出：コンソーシアム活動

2-2. 標準化・共通化・信頼性・安全性：

熱電モジュール発電特性精密評価

熱電デバイス特性評価装置の汎用化、および特性評価値のデータベース化

熱発電デバイスの動作環境における機械的特性評価手法の確立

2-3. 実装・実証 (ユースケース)：

熱電池モジュールの排気管への実装設計

ボイラー実装・熱発電センシングシステム実証

2-4. 実装・実証 (要素技術)：

デバイス技術実証

クリーン熱電池に特化したDC/DCコンバータの最適化

3. プロジェクト成果をベースとした熱電標準化・共通化への取り組み

3-1. 熱電発電標準化・共通化に向けた取り組みの必要性

3-2. 国際標準化への取り組みに向けた国内組織の設立

参加ご希望の方は、「氏名、所属、連絡先 (e-mailと電話番号)」を記載の上、
排熱発電コンソーシアム事務局 (e-mail : wasteheatconso_secr@me.com) へ
e-mail にてお申し込みください。

定員：180名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：無料